

高石市国民健康保険データヘルス計画（第3期）に基づく保健事業について

1. 令和 7 年度事業報告

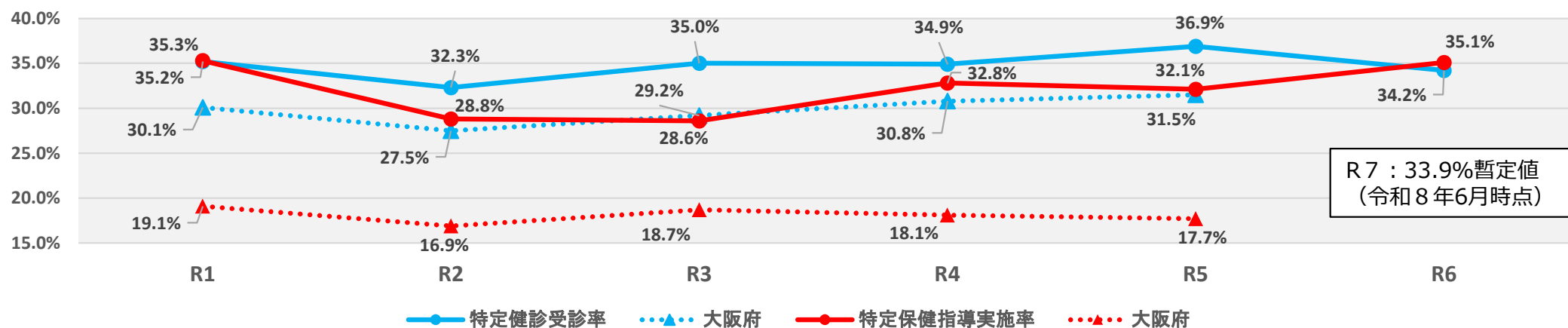
- ①特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の向上
- ②生活習慣病の重症化予防
- ③フレイル予防
- ④PHRを利活用した保健事業
- ⑤その他の事業

2. 令和 8 年度実施計画について

1.令和7年度事業報告 ①特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上

実施事業		取組内容	結果
特定健康診査	未受診者勧奨	ハガキ・SMSによる勧奨通知	ハガキ：6,264件 SMS通知：3,027件
	受診者へのインセンティブ	特定健診受診者にたかいし健康ポイント付与	
	若年者特定健診	・35歳～39歳の被保険者に対して特定 健診を実施	受診率：17.6%
		・企業と連携した健康教育（健診JAM2回/年）	参加者：約450名 健診受診者：306名
特定保健指導	未利用者勧奨	電話にて専門職による利用勧奨	
	終了者へのインセンティブ	特定保健指導終了者にたかいし健康ポイント付与	
	Web型・店舗型保健指導	・スマートフォンを利用したオンライン面接による保健指導 ・調剤店舗を利用した保健指導	

国民健康保険 特定健診受診率・保健指導実施率推移



1.令和7年度事業報告 ②生活習慣病の重症化予防

○ 糖尿病性腎症重症化予防指導プログラム

- ・糖尿病治療中で、糖尿病の合併症のひとつである糖尿病性腎症の方を、レセプトと特定健診データから抽出しかかりつけ医の指示のもと、食事、運動などの生活改善に関する支援を6か月間実施。
令和7年度よりプログラム終了者へたかいし健康ポイント3,000ポイントを付与。

平成25年度から令和7年度まで119名が参加。終了者は112名（対象者数2,386名）
令和6年度参加者2名（対象者229名）⇒ 令和7年度参加者9名（対象者277名）
本市の支援終了者*から人工透析移行者は1名（透析移行阻止率99.1%）*国保資格有りの追跡分析より

○ 早期介入保健指導事業

- ・メタボリックシンドロームのリスク者、高血圧者、喫煙者への保健指導を実施。（特定健診当日実施）

令和6年度事業参加人数：68名

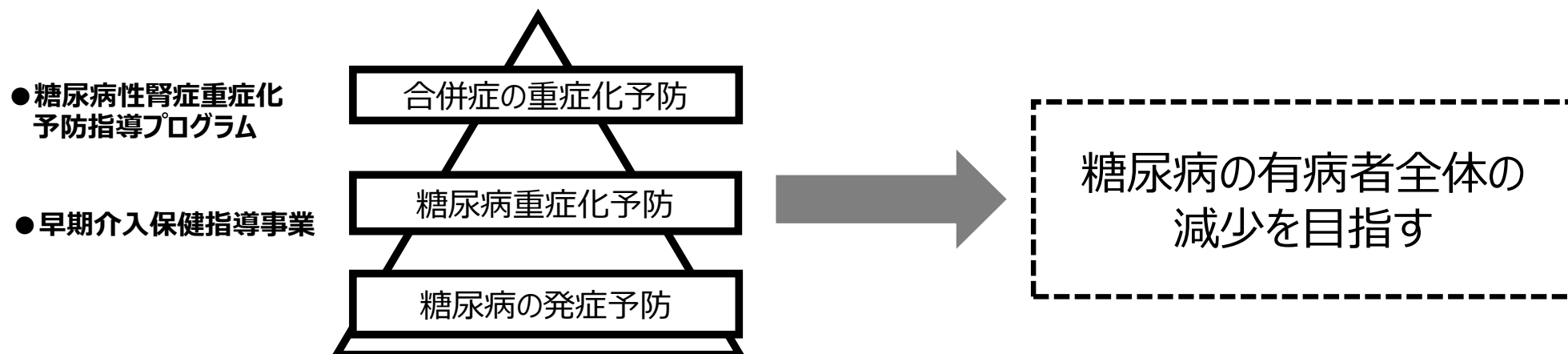
（内訳）

- ・メタボリックシンドロームのリスク者：53名
- ・高血圧：14名
- ・喫煙者：1名

令和7年度事業参加人数：70名

（内訳）

- ・メタボリックシンドロームのリスク者：51名
- ・高血圧：18名
- ・喫煙者：1名

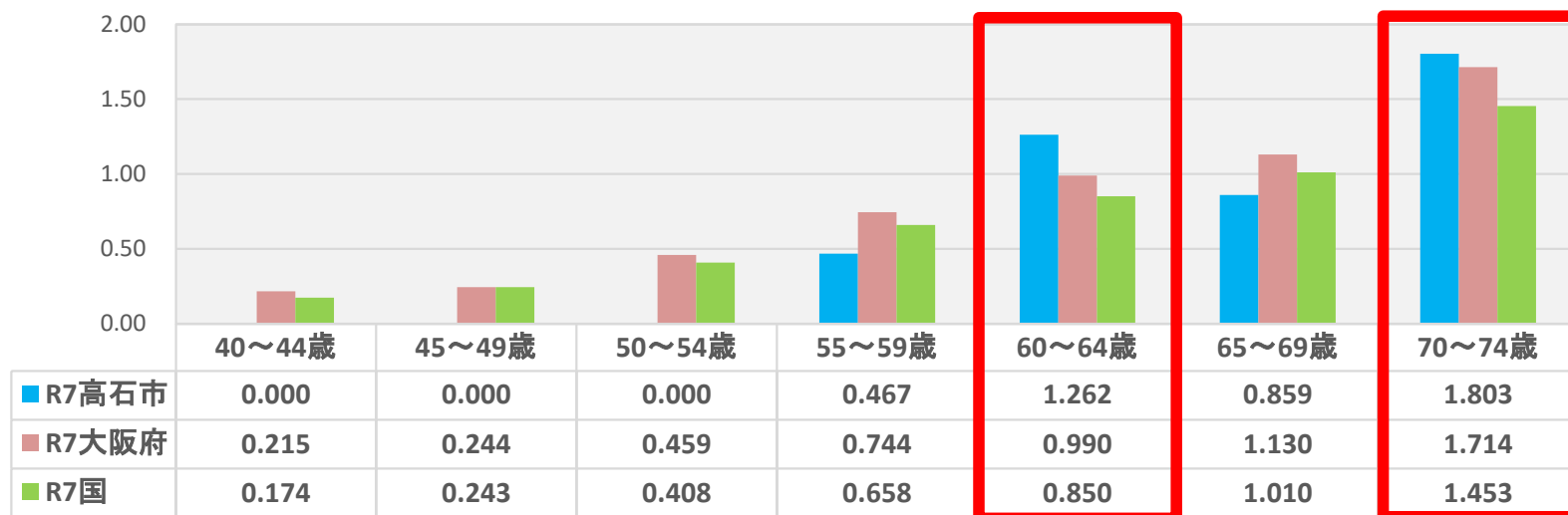


1.令和7年度事業報告 ③フレイル予防

○フレイル（骨折・骨粗しょう症）重症化予防事業

・治療中断者や大腿骨近位部骨折既往者に対し、主治医又は整形外科医の指示のもとで、対象者が必要な治療を受けながら、生活習慣の見直しなど行動変容が図れるよう保健指導を実施。

年齢階級別被保険者千人当たりレセプト件数【骨折・入院・女性】(令和7年度)



出典：KDBシステム 疾病別医療費分析(生活習慣病)

◇フレイルとは？

「（加齢に伴い）筋力や心身の活動が低下した状態」で、進行すると要介護に移行しやすくなる。身体的フレイルの原因のうち、骨折・骨粗しょう症については、骨粗しょう症の服薬継続や医師の生活習慣の指示を遵守することで、再骨折や骨粗しょう症の進行による要介護状態への移行を予防できる可能性が高い。

業務フローおよび業務実績



・対象者のうち再骨折の方：0名
・対象者のうち整形外科受診が確認できた方：13名

1.令和7年度事業報告 ④PHRを活用した保健事業

○健康アプリ

・自身の健診結果の確認ができ、健康づくりに関する記事の配信等による健康無関心層へのアプローチ、生活習慣の改善、疾病予防プログラムなどが実施可能な、スマートフォンアプリ「kencom」を用いて、楽しみながら健康への意識と正しい知識を高めることが可能な、健康アプリ運営を実施。

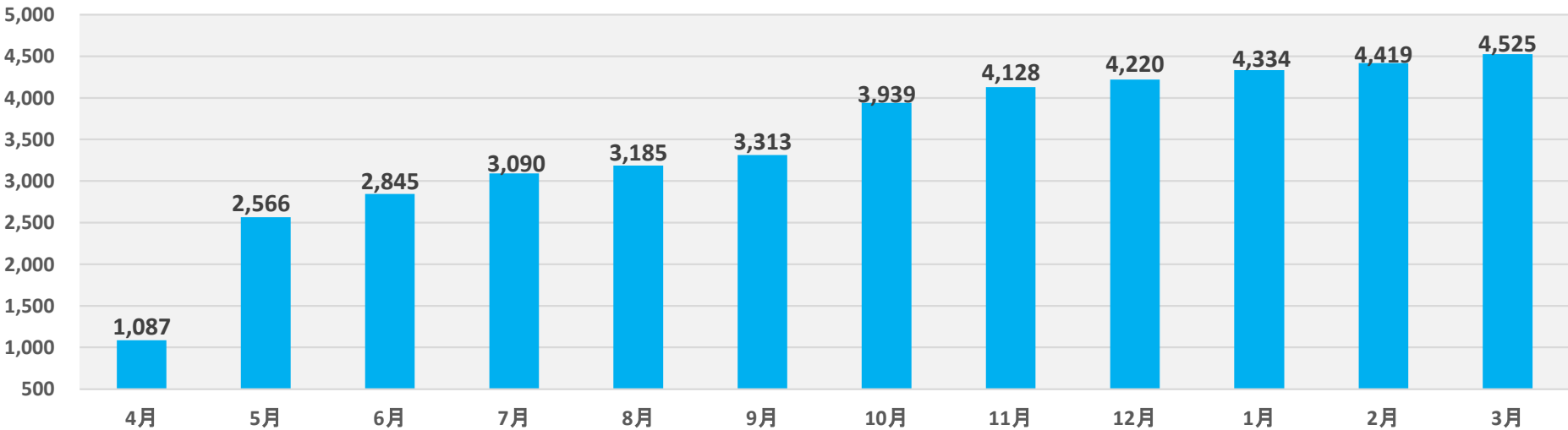
○アプリの主たる機能

- ・健診結果の閲覧・確認
- ・健診検査値による疾病罹患シミュレーション
- ・健康づくりに役立つ記事の配信
- ・PHRデータの記録・活用
- ・健康行動に応じたインセンティブ付与

令和7年度末時点で4,525人が登録。（内国民健康保険被保険者：626人）
健康行動に応じたインセンティブ付与機能を利用した、運動習慣のきっかけや健康意識の向上、習慣化による日常の歩数の増加などを図り、また、自身の健康状態を記録し把握をすることで、健康づくりの促進を図った。



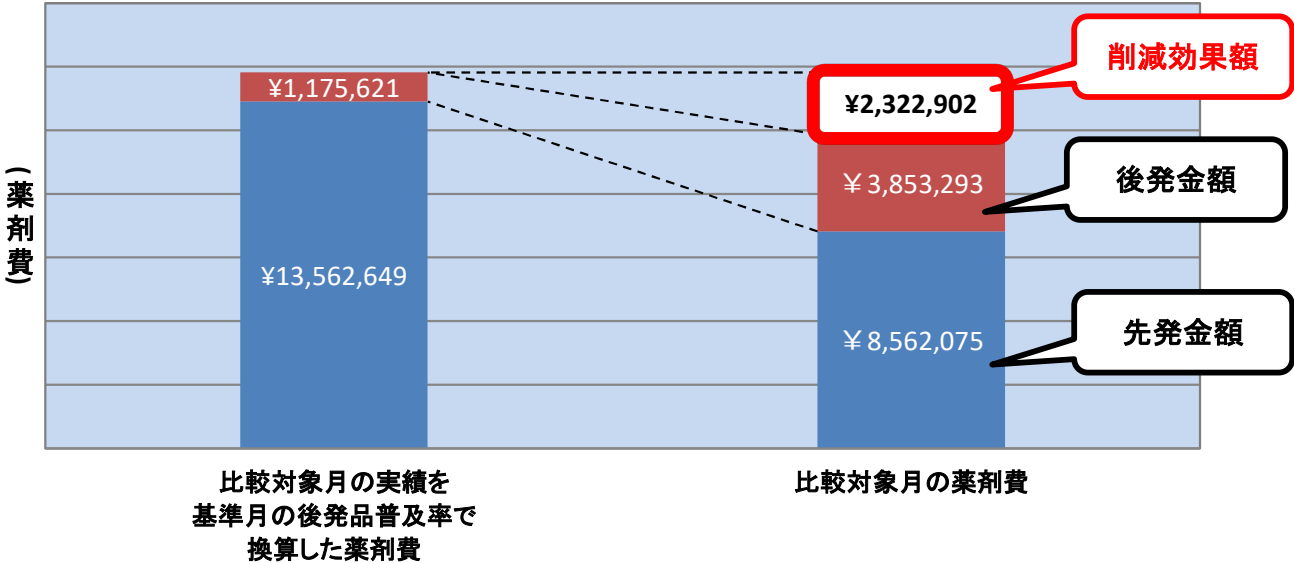
健康アプリ登録者数の推移



1.令和7年度事業報告 ⑤その他の事業（国保事業）

○ 後発医薬品普及事業

- ・ジェネリック医薬品差額通知カードの配布（年1回 全世帯）
- ・ジェネリック医薬品を利用した場合の差額通知の実施（年4回 通知のべ件数726件）



実績

後発品普及率：87.6%

削減効果額：2,322,902円

比較対象月：2025 年12月診療確認分

○ 適正服薬支援事業

・重複多剤服薬(複数の医療機関を受診・6種類以上の処方がある) している60歳以上の被保険者へ、かかりつけ薬剤師に薬の相談や調整を促す通知を実施:398通

上記通知者のうち、服薬数が多いまた飲み合わせなどに高いリスクの可能性のある38名に看護師から電話保健指導実施。

No	該当の 発送年月	効果確認月 診療期間※1	通知者数 累計 (実人数)	効果測定 対象者※2	割合	削減効果額	累計 削減効果額	改善人数			
								医薬品 種類数 (削減人 数)	重複服薬	相互作用 (禁忌)	慎重投与
1	2025年9月	2025年9月 ～ 2025年12月	398	361	90.7%	184,812	184,812	110	49	3	20
								361	69	3	230

※1 効果確認月は、長期処方 considering 基準診療年月(効果確認月の最終月) から最大で過去4カ月のデータを参照している。

※2 基準診療年月（効果確認月の最終月）にレセプトがあった人を効果測定対象者とする。

1.令和 7 年度事業報告 ⑤その他の事業

○ がん検診

- ・肺・胃・大腸・乳・子宮がん検診を自己負担金500円にて実施。（対象：40歳以上の市民※子宮がんは20歳以上）
- ・受診率の向上のため、特定健診との同日実施や、女性のための 5 がんセット検診等を行った。

令和 6 年度がん検診受診率（令和 8 年 6 月時点）

	肺がん	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん
高石市	3.4%	3.7%	5.0%	12.4%	18.9%
大阪府	7.0%	3.2%	7.0%	10.8%	12.9%

○ 歯周病検診

- ・40歳、50歳、60歳、70歳を迎える市民に加えて、令和 7 年度より20歳、30歳も対象とし事業実施。
- ・受診券（はがき）を郵送し、歯周疾患の早期発見、早期治療を図った。（自己負担額無料）

令和 7 年度歯周病検診受診率

	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	合計
受診者数	51	51	51	61	86	76	376
対象者数	565	557	613	869	728	599	3,931
受診率	9.0%	9.2%	8.3%	7.0%	11.8%	12.7%	9.6%

2.令和 8 年度の実施計画について

事業実施	取組事業
①特定健診受診率及び 特定保健指導実施率の向上	・特定健康診査の受診率向上事業 ・特定保健指導未利用者対策事業 ・若年者への特定健康診査事業 ・40歳前勧奨事業
②生活習慣病の重症化予防	・早期介入保健指導事業 ・受診勧奨値異常未治療者への医療機関受診勧奨事業 ・糖尿病性腎症重症化予防事業 ・糖尿病治療中断者への医療機関受診勧奨事業
③フレイルの予防	・骨量測定及び保健指導事業
④二次性骨折予防に関する取り組み	・二次性骨折予防事業
⑤適正服薬及びジェネリック医薬品使用促進	・後発医薬品使用促進事業 ・適正服薬支援事業
⑥ICTの活用による効果的かつ効率的な 健康情報発信	・健康管理アプリを活用した効果的かつ効率的な健康情報発信